

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年7月21日

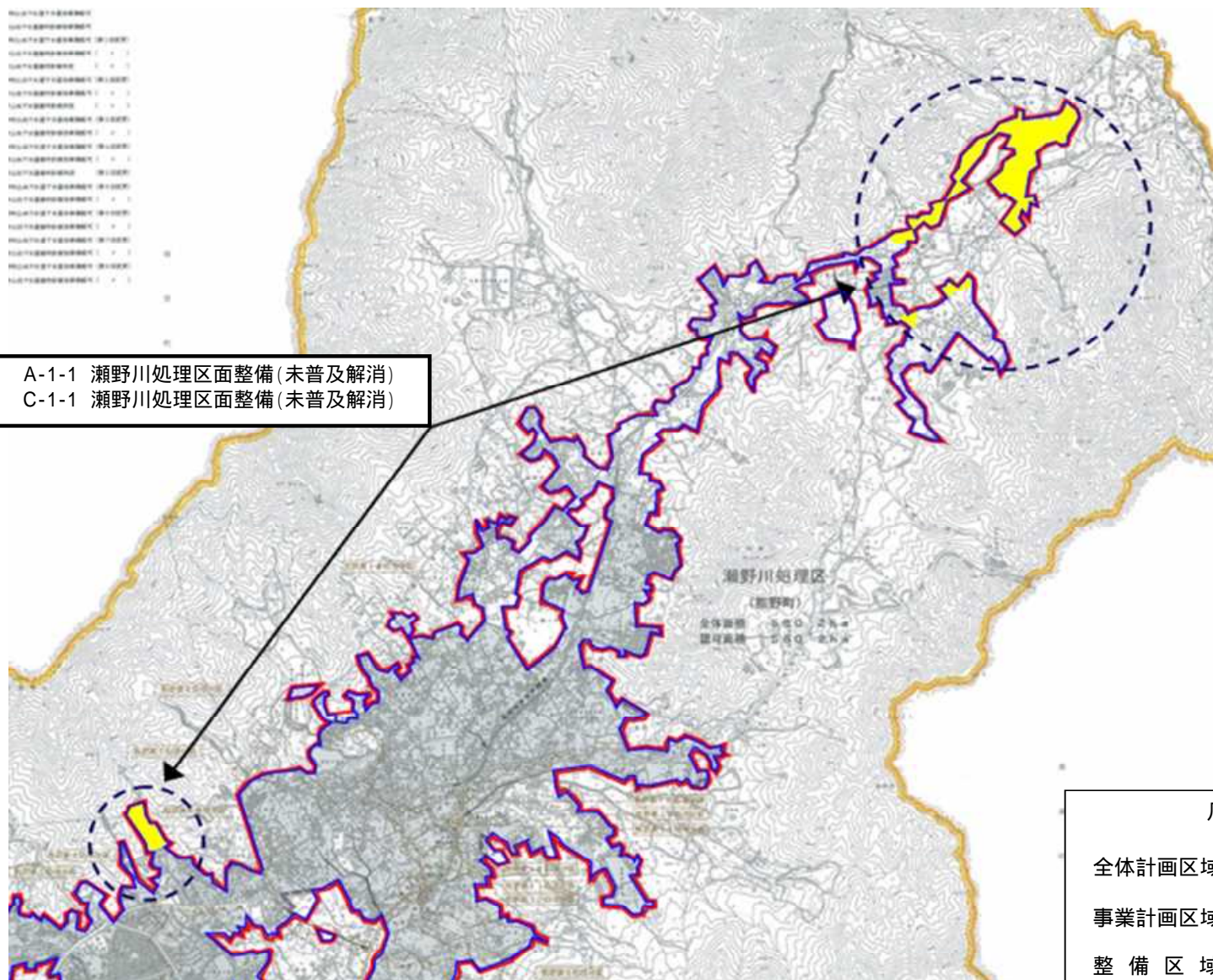
計画の名称	熊野町公共下水道																			
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度（5年間）				交付対象	熊野町														
計画の目標	生活環境の向上と公共水域の水質向上を達成するため、公共下水道事業を実施する。																			
計画の成果目標（定量的指標）	下水道処理人口普及率を88.4%（H23当初）から90.8%（H27末）に向上させる。																			
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値		備考									
									当初現況値 （H23当初）	中間目標値 （H24末）		最終目標値 （H27末）								
下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人） / 行政人口（人）									88.4%	89.3%		90.8%								
全体事業費	合計 （A + B + C）	565百万円	A	535百万円	B		C	30百万円	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C）	5.3%										
<b>事後評価（中間評価）</b>																				
事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																				
事後評価（中間評価）の実施体制					事後評価（中間評価）の実施時期															
学識経験者等への意見聴取については行わない。 今回の下水道事業については、評価指標が下水道処理人口普及率の向上であり達成度の判断基準が明確ことから、学識経験者等の意見を求めている。					整備計画完了の翌年 公表の方法 本町ホームページより公表															
1 交付対象事業の進捗状況																				
交付対象事業																				
A 基幹事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考			
											H23	H24	H25	H26	H27					
熊野第18処理分区																				
A-1-1	下水道	一般	熊野町	直接	-			瀬野川処理区面整備（未普及解消）	75 ~ 200 L = 9.4Km	熊野町							535			
											合計					535				
B 関連社会資本整備事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種		要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考			
											H23	H24	H25	H26	H27					
											合計					0				
C 効果促進事業																				
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種		要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考			
											H23	H24	H25	H26	H27					
C-1-1	下水道	一般	熊野町	直接	-			瀬野川処理区面整備（未普及解消）	A = 1ha	熊野町							30			
											合計					30				
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考									
C-1-1	基幹事業（A-1-1）に接続する末端管渠を一体的に整備することで、事業を促進し早期の供用開始を図る。																			

交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		下水道処理人口普及率の最終目標値90.8%は、未達成であったが、88.4%（H23当初）から90.3%（27末）に向上させることができた。			
定量的指標の達成状況	指標（下水道 処理人口普及 率）	最終目標値	90.80%	目標値と実績値 に差が出た要因	整備延長が当初計画では10.3kmであったが、社会情勢等の変化により実施においては9.4kmとなり、計画通りの 進捗とならなかったため。
		最終実績値	90.30%		
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
		最終目標値		目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値			
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		・公共下水道を整備するとともに、継続的に普及活動を実施することにより、県内平均94%を上回る96%である。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
・下水道クイックプロジェクトの技術を活用するなど費用削減に努め整備するとともに、低宅地・窪地などの区域において新技術活用も踏まえ今後整備手法の検討行う。					

# 社会資本総合整備計画

計画の名称	熊野町公共下水道		
計画の期間	平成23年度 ~ 平成27年度（5年間）	交付対象	熊野町



A-1-1 瀬野川処理区面整備 (未普及解消)  
 C-1-1 瀬野川処理区面整備 (未普及解消)

凡 例	
全体計画区域	<span style="color: red;">—</span>
事業計画区域	<span style="color: blue;">—</span>
整備区域	<span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 20px; height: 10px;"></span>

本事業は、全て事業計画区域内において実施する。